

研究課題名：時空間情報の効率的な脳内処理機構の解明

～ 脳のしなやかな情報表現メカニズムの探索 ～



<研究概要>

脳がいかにして情報を効率的に表現しているのかを明らかにすることは、神経科学における最重要課題の一つです。私は「量」の情報表現に着目し、数やサイズや時間の情報が文脈に応じた相対的な形で、共通の神経細胞群により表現されているという新たな仮説を検証します。これにより柔軟で効率的な脳情報表現の基本原理を解明し、認知能力の拡張や、計算障がい等の克服に向けた革新的技術の開発に資するシーズ創出を目指します。

はやし まさみち

氏名：林 正道

所属機関：情報通信研究機構

役職：テニュアトラック研究員

(ブレインサイエンスおよびその関連分野
/ 認知脳科学関連)

数



時



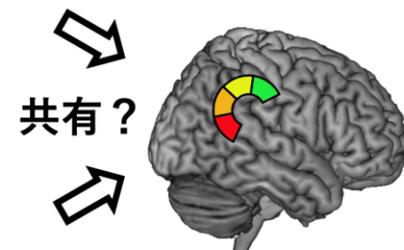
← 相対表現 ← 絶対表現

文脈A 6個 8個 10個 12個

文脈B 10個 12個 14個 16個

文脈A 200ms 350ms 500ms 650ms

文脈B 500ms 650ms 800ms 950ms



共有？

<略歴>

2011年総合研究大学院大学生理学専攻5年一貫制博士課程修了、博士(理学)。ヘルシンキ大学(～2014年)、サセックス大学(～2015年)、カリフォルニア大学(～2017年)、大阪大学大学院生命機能研究科(～2018年)、大阪大学国際医工情報センター(～2019年)を経て、2019年より情報通信研究機構にて研究員(2021年～同・テニュアトラック研究員)。